

## 臨床研究に関する情報公開について

当院では、倫理委員会の承認得て、下記の臨床研究を実施しています。研究は対象となる患者様から個別に同意を得て行う研究ではなく、国が定めた指針に基づき、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われる研究になります。研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 記

**研究課題名：**ホルモン補充周期胚移植において分娩後多量出血リスクを高める背景因子についての検討

**研究責任者：**村林奈緒

**研究目的と意義：** ホルモン補充周期による胚移植は分娩後多量出血（postpartum hemorrhage：PPH）のハイリスク因子とされる。しかし、実際に多量出血を来す症例と来さない症例がある。このため、よりハイリスクとなる要因が明らかとなれば周産期管理に有用と考える。そこで、ホルモン補充周期胚移植症例におけるPPHと背景因子の関連について検討を行った。

**研究方法：** 対象者について、PPH（経膈分娩 800ml 以上、帝王切開 1500ml 以上）の有無と背景因子を比較した。検討は、診療録および分娩施設からの情報提供を用いて後方視的に行った。

**対象となる患者様：** 2015年3月から2022年9月に俵IVFクリニックでホルモン補充周期による胚移植を行い、分娩様式と分娩時出血量が判明した単胎症例。

**発表学会（日時）：** 第77回日本産科婦人科学会学術集会（2025年5月23日-25日）

**個人情報の取り扱い：** 本研究に使用するデータにはお名前、住所など個人を特定できる情報は一切含んでおりません。また、研究成果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究の対象となる患者様は参加への拒否を申し出ることができます。2025年4月23日までに下記へお問い合わせください。この期日以降は利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能となります。

**研究番号：** 2024 — 0025

問い合わせ先：

【住所】 静岡市駿河区泉町2-20

【担当者】 福田純子

【電話番号】 054-288-2882

【FAX】 054-288-2883

【メール】 [tawara-ivf@i.softbank.jp](mailto:tawara-ivf@i.softbank.jp)

以上